

**これまでの取り組みと  
第3回有識者委員会の審議内容**

平成26年3月10日

三重県

# **1. 第2回有識者委員会後の取り組みについて**

# 1-1 意見聴取の概要 -計画検討手順-

## 計画検討手順

STEP1  
有識者委員会  
(第1回)  
H25.7.26

計画検討の発議  
手順の明確化

### 意見聴取①

道路整備の必要性の意向や、複数案の設定と評価項目の設定に繋がる配慮すべき事項などを把握する

※調査時期：H25.9.1～H25.11.14

STEP2  
有識者委員会  
(第2回)  
H25.12.16

①課題の共有と道路整備の必要性の確認  
②複数案の設定と評価項目の設定

### 意見聴取②

ルート帯などの複数案の評価につながり、ルートを決定する際の配慮すべき項目を把握する

※調査期間：H25.12.20～H26.2.9

STEP3  
有識者委員会  
(第3回)  
H26.3.10

複数案の比較評価

STEP4

概略計画案の選定  
対応方針案の策定

# 1-1 意見聴取の概要 -実施した意見聴取一覧-

実施した意見聴取一覧

方法	概要	実施時期	お聞きした人数
アンケート調査	HPにアンケートを掲載 同内容の用紙を関係機関に設置	H25.9.10～ H25.9.30	1,599名
		H25.12.20～ H26.1.20	1,725名
	県広報誌にアンケートを掲載	H25.9.1～ H25.9.25	348名
ヒアリング調査	関係団体に聞き取り	H25.10.8～ H25.11.14	4団体
		H26.1.27～ H26.1.31	5団体
	鈴鹿バルーンフェスティバルの来場者に聞き取り	H25.9.15	81名
100人協議会	グループで意見交換	H25.9.1	147名
		H26.2.5,7,9	106名



# 1-1 意見聴取の概要 -意見聴取の様子-



アンケート  
(亀山市役所)



100人協議会  
(鈴鹿会場)



100人協議会  
(亀山会場)



100人協議会  
(津会場)

## 1-2 県民等の意見 -第2回アンケート調査結果-

- 調査方法：①インターネットによる調査  
ホームページ「みんなで考えよう！鈴鹿亀山道路」にて意見募集
- ②紙媒体による調査  
関係機関（県庁、鈴鹿建設事務所、鈴鹿市、亀山市、高速道路SA、PA等）に設置した用紙にて意見募集

調査期間：平成25年12月20日～平成26年1月20日

# 1-2 県民等の意見 -第2回アンケート調結果-

## ○アンケート調査票

### 鈴鹿亀山道路の計画検討に関するアンケート調査票

鈴鹿亀山道路についてみなさまのご意見をお聞かせください

#### <アンケート調査>

#### このアンケート調査の主旨

鈴鹿亀山道路の計画検討にあたって配慮すべき項目等についてお聞きします。

※ このアンケートは、環境影響評価法第三条の七に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。

県民等のみなさんご意見をお聞かせいただき、今後の計画検討の参考とさせていただくために実施するものであり、本アンケートのみでルート帯を決定するというものではなく、本アンケート結果などを参考に有識者委員会等にてルート帯の評価を行い、最終的には知事が決定します。

いただいたご意見は統計的に処理いたしますので、ご記入いただく方々にご迷惑をおかけすることはありません。また、他の目的での使用や、第三者に提供することはありませんので、ご協力をお願いいたします。

- 1) アンケートご記入の際には、『鈴鹿亀山道路の計画概要』をお読みいただきますようお願いいたします。
- 2) 問1から順番にお読み頂き、回答を直接アンケート用紙にご記入下さい。
- 3) 記入済みのアンケート用紙は、平成26年1月20日までにアンケート配布場所に設置してある回収箱に投函いただくか、下記まで郵送またはFAXにて送付願います。
- 4) 詳細資料は、三重県県土整備部道路企画課、鈴鹿建設事務所事業推進室道路課、鈴鹿市土木部土木総務課及び亀山市建設部都市計画室での閲覧並びにウェブサイト『三重県の道路』の『みんなで考えよう！鈴鹿亀山道路』のトピックにて公表しています（配慮書の案は資料1～4）。また、同ホームページにてアンケートに回答することもできます。  
<http://www.pref.mie.lg.jp/DOROKI/HP/suzukame/index.htm>

#### ■お問い合わせ

三重県  
県土整備部 道路企画課

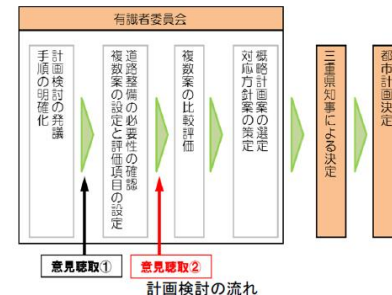
〒514-8570 三重県津市広明町13番地  
TEL: 059-224-2739  
FAX: 059-224-2310

※問い合わせ対応時間 土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）を除く平日8:30～17:15

## 鈴鹿亀山道路の計画概要

本アンケートは、鈴鹿亀山道路の計画検討にあたり、配慮すべき項目等についてみなさまのご意見をお聞かせ頂くためのアンケート調査です。なお、本アンケートは、環境影響評価法第三条の七に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。

- ・事業を実施しようとする者の氏名及び住所  
事業予定者の名称: 三重県  
代表者氏名: 三重県知事 鈴木英敬  
住所: 三重県津市広明町13番地
- ・事業の名称  
(仮称) 都市計画道路 鈴鹿亀山道路
- ・事業の内容  
起点: 三重県鈴鹿市 終点: 三重県亀山市  
概略延長約10km

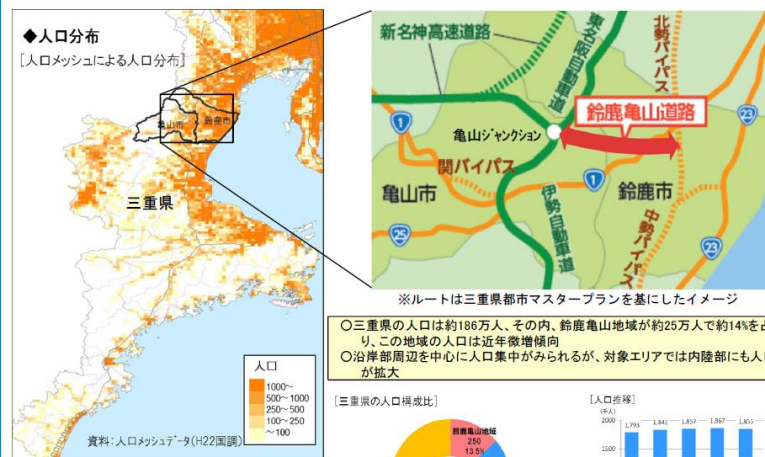


### 鈴鹿亀山道路とは

鈴鹿亀山道路は、東名阪自動車道や新名神高速道路と鈴鹿市街地を結ぶ道路で、鈴鹿市北・中勢バイパス付近から亀山市亀山ジャンクション付近にまたがる延長約10kmの地域高規格道路です。

現在、鈴鹿亀山道路の都市計画決定に向けた検討を行っています。

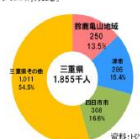
#### ◆鈴鹿亀山道路の位置



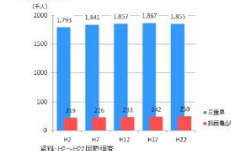
※ルートは三重県都市マスタープランを基にしたイメージ

○三重県の人口は約186万人、その内、鈴鹿亀山地域が約25万人で約14%を占めており、この地域の人口は近年微増傾向  
○沿岸部周辺を中心に人口集中がみられるが、対象エリアでは内陸部にも人口分布が拡大

〔三重県の人口構成比〕



〔人口推移〕



資料: H2～H22国勢調査



# 1-2 県民等の意見 - 第2回アンケート調結果 -

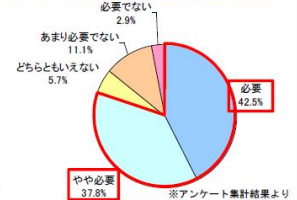
## 県民等の意見

- ・幹線道路を引き続き重点的に進めていくことが必要
- ・産業の活性化に寄与すること、広域幹線道路ネットワークを強化すること、災害時にも機能すること、生活環境・自然環境に悪影響がでないこと

○意見聴取①としてアンケート調査、ヒアリング調査、100人協議会を実施しています。  
○県内の高速道路や国道などの幹線道路整備を引き続き重点的に進めていくことについて、約8割の方が「必要」、「やや必要」と回答。

方法	概要	実施時期	お聞きした人数
アンケート調査	HPIにアンケートを掲載 同内容の用紙を関係機関に設置	H25.9.10～ H25.9.30	1,599名
	県広報誌にアンケートを掲載	H25.9.1～ H25.9.25	348名
ヒアリング調査	関係団体に聞き取り	H25.10.8～ H25.11.14	4団体
	鈴鹿ハルーンフェスティバルの来場者 に聞き取り	H25.9.15	81名
100人協議会	8～10名を1グループで意見交換	H25.9.1	147名

Q.県内の高速道路や国道などの幹線道路整備を引き続き重点的に進めていくことは必要だと思いますか？



○アンケートやヒアリング等でいただいた意見を整理すると、鈴鹿亀山道路に求められる機能として「産業の活性化に寄与すること」、「広域幹線道路ネットワークを強化すること」、「災害時にも機能すること」。

分野	主なご意見
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の活性化には道路が不可欠、企業誘致に期待&lt;100&gt;・産業の向上のために整備を望む&lt;100&gt;</li> <li>・輸送や業務で利用する道路と日常生活で利用する道路の使い分けが必要&lt;77&gt;・ICまでのアクセスが悪い、時間短縮を望む&lt;77&gt;</li> <li>・100&gt;・ICが遠い、高速道路を利用しないことがある&lt;77&gt;・沿岸部や鈴鹿市街地、神戸長沢線沿線の企業にICアクセス改善へのニーズが多い&lt;77&gt;・高規格の道路を望む&lt;77&gt;・複数車線の自導路&lt;100&gt;・伊勢神宮をはじめ、県内各地への観光来訪のニーズは関西圏からも非常に高い&lt;77&gt;・</li> </ul>
道路ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域道路</li> <li>・多様なネットワークで経路の選択ができることは、産業面（競争力の向上、企業立地促進）、観光面（時間が読める、訪問地が増える、広域連携ができる）などの効果が期待できる&lt;77&gt;・選択性が増えることは、防災（有事対策）にも寄与する&lt;77&gt;・鈴鹿市、亀山市、及び三重県の発展のために整備を望む&lt;100&gt;・計画から整備まで時間がかかるのでは&lt;100&gt;・道路整備を行うことで財政面に悪影響が出ないか不安&lt;100&gt;</li> <li>・地域 の道路</li> <li>・高速道路からのアクセスの向上を望む&lt;100&gt;・「交通事故や渋滞など日常生活に不安」の割合が高い&lt;77&gt;</li> <li>・交通の分散により、渋滞の緩和等の効果を期待&lt;100&gt;・77&gt;・まっすぐな幹線道路が無い、カーブが多くて走りづらい&lt;100&gt;・77&gt;・安全で便利な道路を望む、わかりやすい道路になっている&lt;100&gt;・77&gt;・高速道・国道以外の道路整備（自転車道や歩道を含む）が極めて遅れていると感じる&lt;77&gt;・生活交通と産業交通を分けて欲しい&lt;100&gt;・77&gt;</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「台風や津波などの災害時に不安」の割合が最も高い&lt;77&gt;・「救急・救命活動を支える道路」、「緊急車両が早く到達できる道路」を望む声が高い&lt;77&gt;・災害時に加圧化するのを恐れている（以前踏切した経験）&lt;100&gt;・77&gt;</li> <li>・災害時の代替道路が必要&lt;77&gt;・海まで（亀山JCT～国道23号）まで行った東西軸を望む&lt;100&gt;・普段の生活でも、病院へのアクセスに苦労が感じている&lt;100&gt;・耐久性の高い、複数車線の道路を望む&lt;100&gt;</li> </ul>

○県民全体の意見としては、今後、道路整備を行う場合に気をつけることとして、「生活環境に悪影響が出ないこと」、「自然環境に悪影響が出ないこと」が高くなっています。  
○当該地域の住民や関係者からは、景観や重要な史跡等に配慮することを望むと回答しています。

Q.今後、道路整備を行う場合、気をつけるべきことは何ですか？

環境配慮事項	割合
生活環境に悪影響がでないこと(騒音、大気汚染等)	60.4
自然環境に悪影響がでないこと(緑地、生物等)	42.0
社会環境に悪影響がでないこと(歴史、文化遺産等)	10.6
まちのみや農産物に配慮すること	9.9
農業用をもちょうすること	22.7
計画に準って整備すること	34.5
その他	2.7

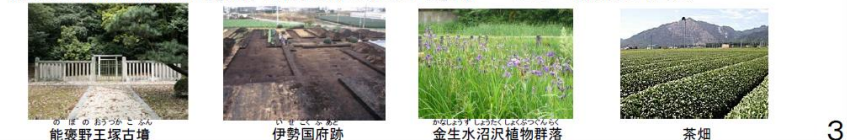
※アンケート結果より

Q.今後、道路整備を行う場合、気をつけるべきことは何ですか？

環境配慮事項について

環境配慮事項	割合
生活環境に悪影響がでないこと(騒音、大気汚染等)	60.4
自然環境に悪影響がでないこと(緑地、生物等)	42.0
社会環境に悪影響がでないこと(歴史、文化遺産等)	10.6
まちのみや農産物に配慮すること	9.9
農業用をもちょうすること	22.7
計画に準って整備すること	34.5
その他	2.7

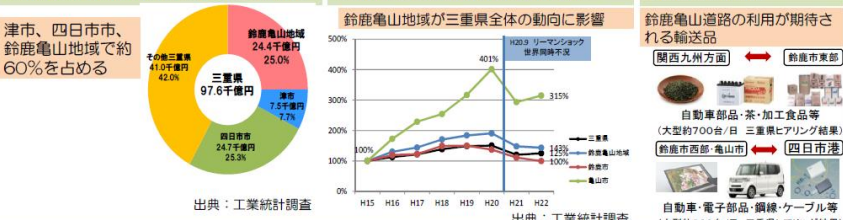
※アンケート結果より



## 現状と課題(1) 産業集積地において、インターチェンジへのアクセス性に課題

- 工業製品出荷額等の地区別構成比で、津市、四日市市、鈴鹿亀山地域は、三重県全体の約60%を占め、県内全体の産業を支えています。
- 鈴鹿亀山地域は、電子部品や輸送用機械の出荷額で全国上位となるなど、全国的にみても産業をリードする地域です。
- 電子部品や輸送用機械等を中心に関西等との輸送がこの地域の産業を支えています。

### ◆県の工業製品出荷額等の地区別構成比 ◆県の工業製品出荷額等の伸び率 ◆関西等との輸送



### ◆鈴鹿亀山地域の工業製品出荷額等のシェア



- 三重県の人口に対する工業製品出荷額等の割合は4年連続1位(H21～24)。
- H24.7に策定した「みえ産業振興戦略」では、全国体リチウム電池(全国体ポリマーリチウム二次電池:文部科学省、JST採択事業)に代表される成長産業や先端ものづくり産業など新産業新市場の創出をめざしています。

### ◆三重県産業の概況と新たな産業振興戦略

【人口に対する工業製品出荷額等の都道府県順位(千円)】

順位	2009	2010	2011	2012(速報値)
1	三重 5,013	三重 5,264	三重 5,099	三重 5,395
2	愛知 4,842	愛知 5,156	愛知 4,991	愛知 5,131
3	滋賀 4,353	滋賀 4,659	滋賀 4,609	滋賀 4,500
4	静岡 3,969	山口 4,375	山口 4,348	山口 4,211
5	栃木 3,828	栃木 4,213	静岡 3,989	静岡 4,060
全国	2,080	2,258	2,230	2,174

【主要産業の生産額】

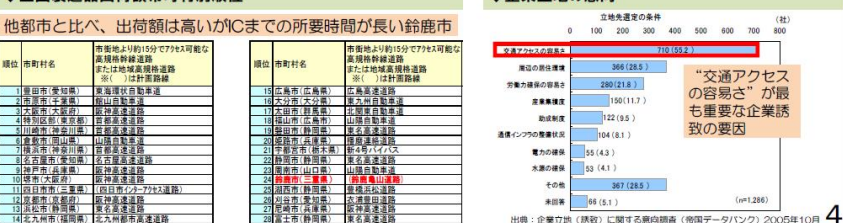
産業	2009	2010	2011	2012(速報値)
1	三重 5,013	三重 5,264	三重 5,099	三重 5,395
2	愛知 4,842	愛知 5,156	愛知 4,991	愛知 5,131
3	滋賀 4,353	滋賀 4,659	滋賀 4,609	滋賀 4,500
4	静岡 3,969	山口 4,375	山口 4,348	山口 4,211
5	栃木 3,828	栃木 4,213	静岡 3,989	静岡 4,060
全国	2,080	2,258	2,230	2,174

【主要産業の生産額】

産業	2009	2010	2011	2012(速報値)
1	三重 5,013	三重 5,264	三重 5,099	三重 5,395
2	愛知 4,842	愛知 5,156	愛知 4,991	愛知 5,131
3	滋賀 4,353	滋賀 4,659	滋賀 4,609	滋賀 4,500
4	静岡 3,969	山口 4,375	山口 4,348	山口 4,211
5	栃木 3,828	栃木 4,213	静岡 3,989	静岡 4,060
全国	2,080	2,258	2,230	2,174

- 産業集積地において、鈴鹿亀山地域は、他都市と比較しても、インターチェンジへのアクセス性に問題があります。
- 交通アクセス性の問題は、優れた立地性を発揮できず、企業誘致にとっての障害となりかねないと考えられます。

### ◆全国工業製品出荷額市町村別順位 ◆企業立地の意向









# 1-2 県民等の意見 - 第2回アンケート調結果 -

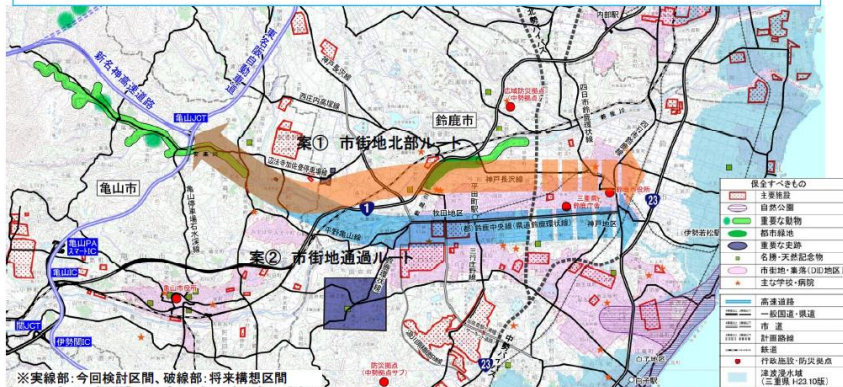
## ルート帯の検討(3) 道路整備による効果・改善が図られるルート帯案を2つ設定

※ルート帯…道路が通過する概ねの位置(概ねの幅1km程度)を示す

- 次に示すルートの考え方に即して2つのルート帯を設定し、その特徴を併記しました。
- 本アンケートの結果などを参考に有識者委員会等にてルート帯の評価を行い、最終的には知事が決定します。

### 【ルートの考え方】

- 産業基盤を支える道路として、大阪、滋賀、京都と更なる連携強化等を図るため亀山ジャンクション付近で接続する
- 名古屋方面へ向かう幹線道路とスムーズに連絡し、交通需要の大きい牧田、神戸、白子地区を結ぶ



※実線部：今回検討区間、破線部：将来構想区間

特徴	現況	案1 市街地北部ルート	案2 市街地通過ルート
地域の現状や課題、政策目標に応じた項目設定		生活環境の保全を重視し、既存の道路等と連携して経済的に課題解消を図る案	市街地と直接連続して当該道路で課題解消を図る案
道路規格		設計速度：80～100km/h 自動車専用道路	
区間延長		約10km	約10km
新名神高速道路等への接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>①亀山JCT<sup>※1</sup>～神戸地区(鈴鹿市市街)の所要時間 ①約29分</li> <li>②亀山JCT～白子地区(白子駅)の所要時間 ②約41分</li> <li>③既存事業所の1.5分インターアクセス率 ③約25%</li> <li>④1.5分インターアクセス率 ④約4%</li> <li>⑤亀山JCT～新築工業団地の所要時間 ⑤約40分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①約15分 (約13分短縮)</li> <li>②約29分 (約12分短縮)</li> <li>③約43% (約18%の拡大)</li> <li>④約47% (約4%の拡大)</li> <li>⑤約12分 (約28分短縮)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①約15分 (約14分短縮)</li> <li>②約25分 (約16分短縮)</li> <li>③約50% (約25%の拡大)</li> <li>④約47% (約4%の拡大)</li> <li>⑤約12分 (約28分短縮)</li> </ul>
定時刻の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>①鈴鹿市街地～名古屋(名古屋西IC<sup>※2</sup>) ①約67分 □約14分</li> <li>②白子～白子駅 ②約53分 □約4分</li> <li>③鈴鹿市街地～大阪方面(草津JCT) ③約72分 □約12分</li> <li>④白子～白子駅 ④約60分 □約6分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①約55分 □約9分</li> <li>②約47分 □約6分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①約55分 □約8分</li> <li>②約47分 □約7分</li> </ul>
災害に強い道路機能の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>①沿岸部(建設済水区域)へのアクセス性</li> <li>②亀山JCT～広域防災拠点(中勢)の所要時間</li> <li>③広域防災拠点(中勢)～広域防災拠点(伊賀)の所要時間</li> <li>④広域防災拠点(伊賀)～広域防災拠点(伊賀)の所要時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①沿岸部へのアクセス性が向上</li> <li>②約15分 (約11分短縮)</li> <li>③約26分 (約11分短縮)</li> <li>④約38分 (約7分短縮)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①沿岸部へのアクセス性が向上</li> <li>②約17分 (約9分短縮)</li> <li>③約24分 (約9分短縮)</li> <li>④約38分 (約5分短縮)</li> </ul>
周辺主要道路の交通量	<ul style="list-style-type: none"> <li>①(約)鈴鹿中央線(県道鈴鹿線)の交通量削減効果</li> <li>②周辺主要道路の交通量削減効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①約16%削減</li> <li>②約9%削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①約24%削減</li> <li>②約5%削減</li> </ul>
生活環境への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>①(大気質)市街地・集落(DO<sup>※3</sup>地区)</li> <li>②(騒音)鈴鹿市街地・集落(DO地区)</li> <li>③(重要な支路)重要な支路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①通過するものと予測、影響の可能性小</li> <li>②通過するものと予測、影響の可能性小</li> <li>③通過するものと予測、影響の可能性あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①通過するものと予測、影響の可能性あり</li> <li>②通過するものと予測、影響の可能性あり</li> <li>③通過するものと予測、影響の可能性あり</li> </ul>
自然環境等への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>①(動物)安曇川や御幸川</li> <li>②(植物)天龍寺動物園</li> <li>③(生態系)保存上重要な自然環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①通過するものと予測、影響の可能性あり</li> <li>②通過するものと予測、影響の可能性小</li> <li>③通過するものと予測、影響の可能性小</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①通過するものと予測、影響の可能性あり</li> <li>②通過するものと予測、影響の可能性小</li> <li>③通過するものと予測、影響の可能性小</li> </ul>
建設期間中の影響		交通規制は少なく、交通への影響は小さい	(都)鈴鹿中央線(県道鈴鹿線)の上の立体構造とした場合は、交通規制が多く、交通への影響が大きい。(案)2に比べ途中で100m以内の上り下り発生(損失が発生)
その他		市街地や集落の多くを避け、支障となる家屋が少ないため、建設期間が短く長期となる恐れが少ない	支障となる家屋が多く、建設期間が長期となることが予想される
事業費		約540億円	約790億円

※1 延長、整備効果等は、今回検討区間で算出(道路整備による効果・改善される点は、資料3 P.14～21に記載)道路整備による影響(生活環境、自然環境等への影響)は、資料2 P.20及び資料3 P.7、12に記載(道路整備による影響(建設期間中の交通への影響)は、建設期間中の通行規制(鈴鹿中央線・2車線規制、10年間を想定)により算出・その他(建設期間)は、資料3 P.12に記載)※2 その他(事業費)は、国土交通省地方整備局の「高規格道路調査」とまた表裏に準じて算出。単価は工事費概算単価表を採用。用地費は平成18年度事業単価の標準を採用。

※3 JCT：ジャンクション ※2 IC：インターチェンジ ※3 DID：人口集中地区、国際商業の基本単位を基礎単位とし、市区町村の境域内で人口密度の高い地域。詳細資料は、三重県国土整備部道路企画課、鈴鹿建設事務所事業推進室道路課、鈴鹿市土木部土木総務課及び亀山市建設部都市計画室での閲覧並びにウェブサイト「三重県の道路」の「みんなで考えよう! 鈴鹿亀山道路」のトピックにて公表しています。

## アンケート用紙

問1 ご回答いただくご自身のことについてお聞きします。

住所をご記入いただき、該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。その他を選択された方は( )内に具体的な内容をお書きください。

1) 住所	( ) 都・道・府・県 ( ) 市・町・村
2) 性別	1. 男性 2. 女性
3) 年齢	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上
4) 職業	1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業 3. 学生 4. 家事手伝い 5. 専業主婦・専業主夫 6. アルバイト・パート 7. その他( )
5) 自動車運転免許の有無	1. 有 2. 無

『鈴鹿亀山道路の計画概要』(P.2～7)をご覧ください。下記設問にお答えください。

問2 県民等の意見(P.3)から

- 県内の高速道路や国道などの幹線道路を引き続き重点的に進めていくことが必要
- 産業の活性化に寄与すること、広域幹線道路ネットワークを強化すること、災害時にも機能すること、生活環境・自然環境に悪影響がでないこと などと整理しました。これらについてどのように思われますか?

問2-1

いずれか1つ選んで番号に○をつけてください。

- ①妥当と思う → 問3へ ②どちらとも言いえない → 問2-2へ  
③妥当と思わない → 問2-2へ

問2-2

『どちらとも言いえない』、『妥当と思わない』の理由を教えてください。(回答後、問3へ)

自由回答

問3 三重県では、県民等の意見(P.3)や現状と課題(P.4～5)から、「工業製品出荷額等日本一の産業を支える道路基盤の充実」など下記3項目をコンセプト(政策目標)(P.6上段)に設定しました。これらについて、妥当だと思われますか?

問3-1

それぞれの項目(コンセプト)ごとに、あなたの考えに近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

項目 コンセプト(政策目標)	そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分ら ない
1) 工業製品出荷額等日本一の産業を支える道路基盤の充実	1	2	3	4	5
2) 中部・近畿や県内の連携強化のため、選択性のあるネットワークの確保	1	2	3	4	5
3) 災害時にも社会経済活動を持続し地域の持つポテンシャルを早期復元できる道路機能の強化	1	2	3	4	5

# 1-2 県民等の意見 -第2回アンケート調結果-

○問3-2

問3-1のコンセプトについて、ご意見があればご自由にお書きください。

自由欄	
-----	--

問4

三重県では、コンセプト（P.6上段）などから、2つのルート案を設定しました（P.7）。今後どちらかに決定しますが、この2つの案を比較検討する際、配慮する項目を下記のとおり10項目抽出しました。これらについて配慮すべきだと思いますか？

○問4-1

それぞれの項目ごとに、あなたの考えに近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

項目	そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分から ない
1) 高速道路から商業地域や工業地域にスムーズに連絡すること	1	2	3	4	5
2) 広域幹線道路ネットワークを強化し、当該地域における各方面への定時性を確保すること	1	2	3	4	5
3) 災害時に緊急輸送路として機能し、沿岸部や防災拠点間等の連携強化に寄与すること	1	2	3	4	5
4) 市街地の渋滞解消に寄与すること	1	2	3	4	5
5) 大気質や騒音などの生活環境に配慮するため、できる限り集落や学校、病院から離れた位置に計画すること	1	2	3	4	5
6) 貴重な動植物が生息・生育する箇所など優れた自然環境が残された場所については、できる限り避けて計画すること	1	2	3	4	5
7) 地域にとって重要な史跡が残された場所については、できる限り避けて計画すること	1	2	3	4	5
8) 地域分断や家屋移転などが少ないこと	1	2	3	4	5
9) 建設期間中の生活への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
10) 建設期間が短く、経済的で事業効果が早期に発生すること	1	2	3	4	5

○問4-2

問4-1の各項目に該当する、具体的な名称をお書きください（例：環境の保全の見地から○○を保全してほしい など）。また、上記項目以外に配慮すべき事項があればご自由にお書きください。

自由欄	
-----	--

9

問5

課題の解決や政策目標の達成には、自動車専用道路<sup>※1</sup>等での整備が必要と考えています（P.6下段）。また、亀山ジャンクション<sup>※2</sup>から北・中勢バイパスに接続し、将来的には国道23号に接続することを考えています（P.7）。それらの中で交差する道路にインターチェンジ<sup>※3</sup>を設置する必要がありますが、設置の際、配慮する項目を下記のとおり4項目抽出しました。これらについて、配慮すべきだと思いますか？

※1: 高速道路などの自動車のみが往来することができるように設置された道路  
※2: 高速道路などの合流地点 ※3: 自動車専用道路等への出入口

○問5-1

それぞれの項目ごとに、あなたの考えに近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

項目	そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分から ない
1) 他の幹線道路との乗り継ぎを円滑にすること	1	2	3	4	5
2) 工場等からのアクセスが良いこと	1	2	3	4	5
3) 市街地からのアクセスが良いこと	1	2	3	4	5
4) 市役所など、公共施設に近いこと	1	2	3	4	5

○問5-2

その他配慮すべき事項があれば、ご自由にお書きください。

自由欄	
-----	--

問6

県民等の意見募集時（P.3上段）に、アンケートを投函いただくなどのご協力をいただいたかを教えてください。

① 協力した	② 協力していない
--------	-----------

問7

その他、鈴鹿亀山道路について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

自由欄	
-----	--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

10

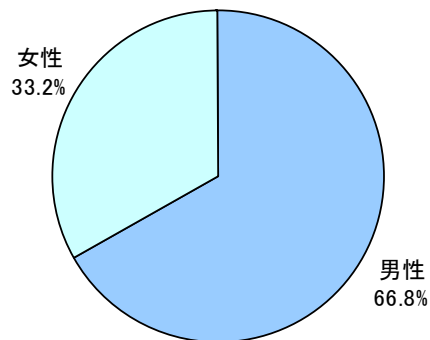
# 1-2 県民等の意見 -第2回アンケート調査結果-

○インターネットを中心として全体で1725通の回答が得られた。  
 ○幅広い年代で鈴鹿亀山地域を中心として北勢地域から多数の回答が得られた。

【回答者属性】 回答数：1725 （インターネットによる回答：1270、用紙による回答：455）

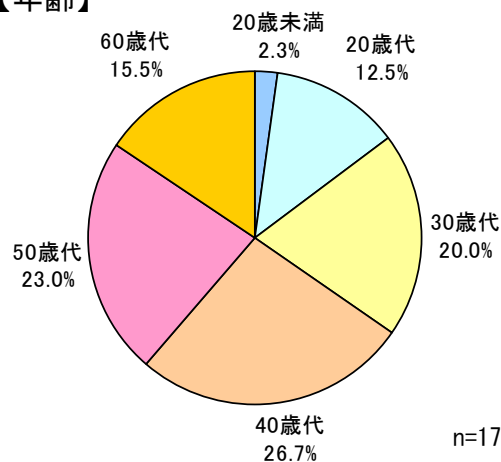
問1 ご回答いただきご自身のことについてお聞きします。

【性別】



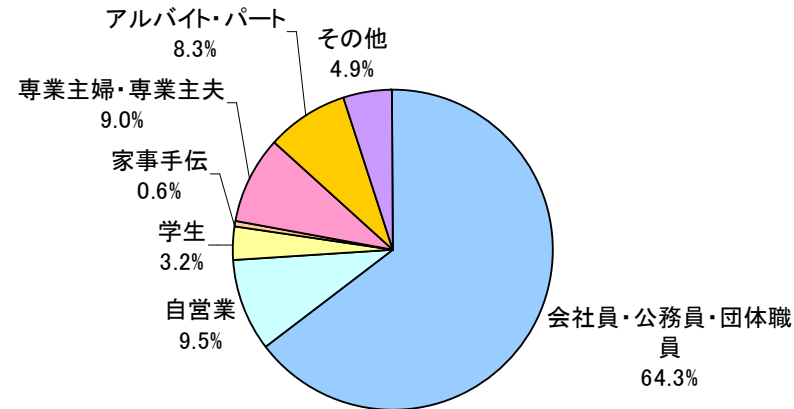
n=1725

【年齢】



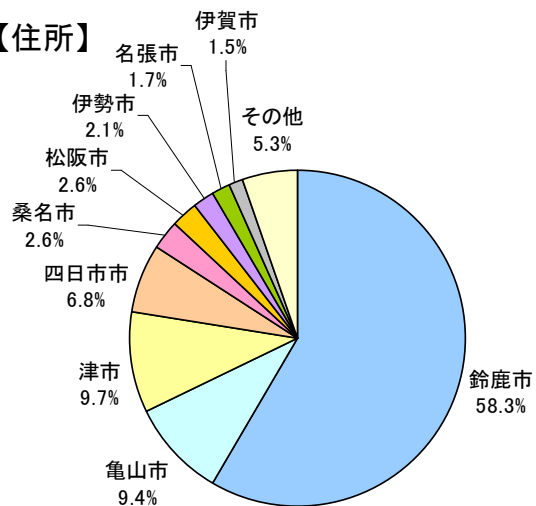
n=1725

【職業】



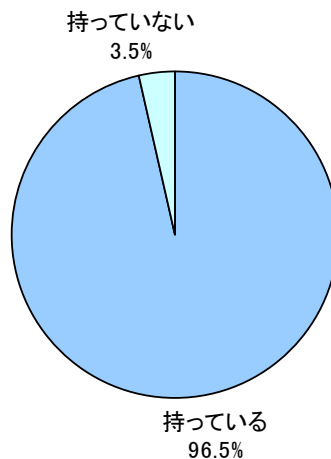
n=1725

【住所】



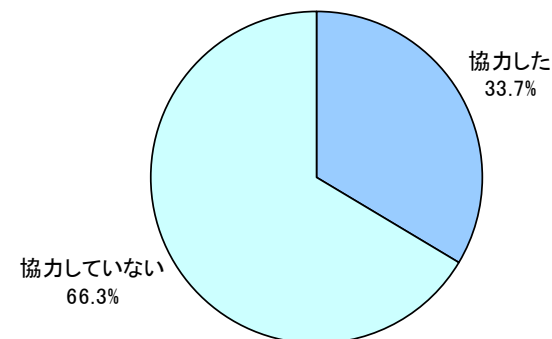
n=1725

【自動車運転免許証の有無】



n=1725

【これまでの意見聴取への協力の有無】



n=1725



# 1-2 県民等の意見 - 第2回アンケート調査結果 -

## 【これまでの意見聴取結果の妥当性】

問2

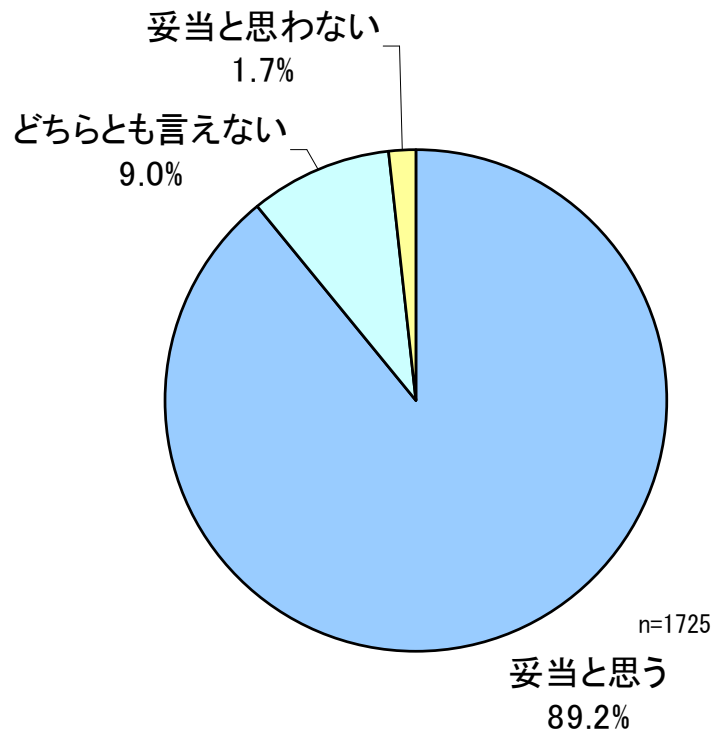
県民等の意見から

- ・県内の高速道路や国道などの幹線道路を引き続き重点的に進めていくことが必要
  - ・産業の活性化に寄与すること、広域幹線道路ネットワークを強化すること、災害時にも機能すること、生活環境・自然環境に悪影響がでないこと など
- と整理しました。これらについてどのように思われますか？

○これまでに行われた意見聴取の整理について、妥当と思うが約90%を占める。

○『どちらともいえない』、『妥当と思わない』理由は、道路の必要性を感じない、他の地区の整備を優先すべき、道路以外の施策を優先すべきなどが挙げられた。

### 妥当と思うかどうか



### 『どちらともいえない』、『妥当と思わない』の理由（自由記述：意見抜粋）

- 今の整備状況で十分だと思うから
- 道路の必要性を感じない、必要だと思わないから
- 北部の道路ではなく他の地域（南部等）の整備を望む
- よくわからない、判断できない
- 道路以外の施策を優先すべき 等

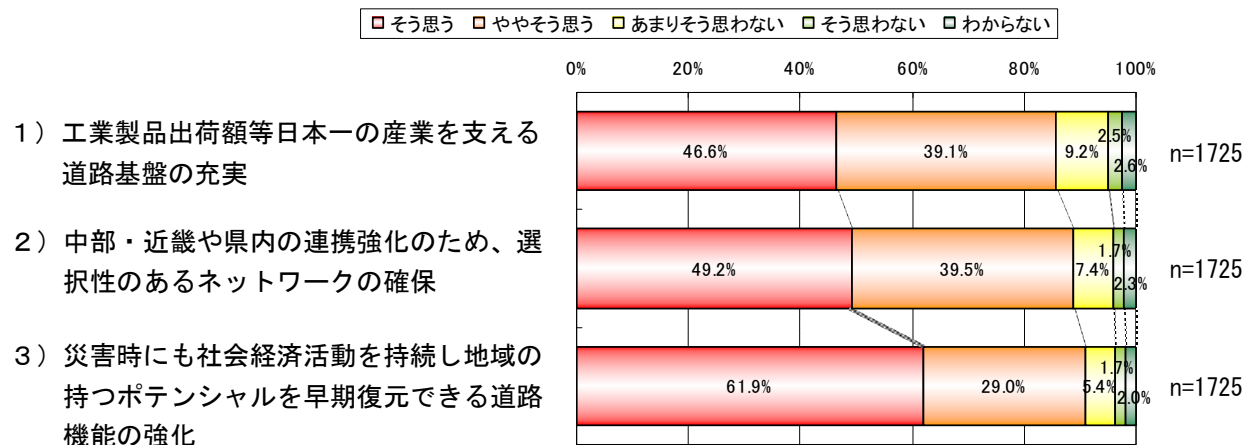
# 1-2 県民等の意見 -第2回アンケート調査結果-

## 【三重県が設定したコンセプトの妥当性】

問3 三重県では、県民等の意見や現状と課題から、「工業製品出荷額等日本一の産業を支える道路基盤の充実」など下記3項目をコンセプト（政策目標）に設定しました。これらについて、妥当だと思えますか？

○問3-1 それぞれの項目（コンセプト）ごとに、あなたの考えに近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

○各項目とも「そう思う」「ややそう思う」という意見が80%を超え、県が設定したコンセプトについては、どの項目とも妥当性が高いと判断できる。



### 自由記述（意見抜粋）

- 東海、東南海地震に備えて災害時の道路機能の復旧が最重要
- 道路だけでなく、鉄道、航空、海上交通などを統合的に考えて最適なインフラを整備して欲しい
- ホンダ、旭化成、住友電装、シャープは亀山、鈴鹿地区では大事な企業、その企業の商品輸送には善処すべき
- 産業用道路と生活道路の区別をはっきりとすべき
- 県内の道路整備はかなり遅れていると感じており、コンセプトを支持します

等

# 1-2 県民等の意見 - 第2回アンケート調査結果 -

## 【ルート帯案を比較するために配慮すべき事項】

問4 三重県では、コンセプトなどから、2つのルート帯案を設定しました。今後どちらかに決定しますが、この2つの案を比較検討する際、配慮する項目を下記のとおり10項目抽出しました。これらについて配慮すべきだと思いますか？

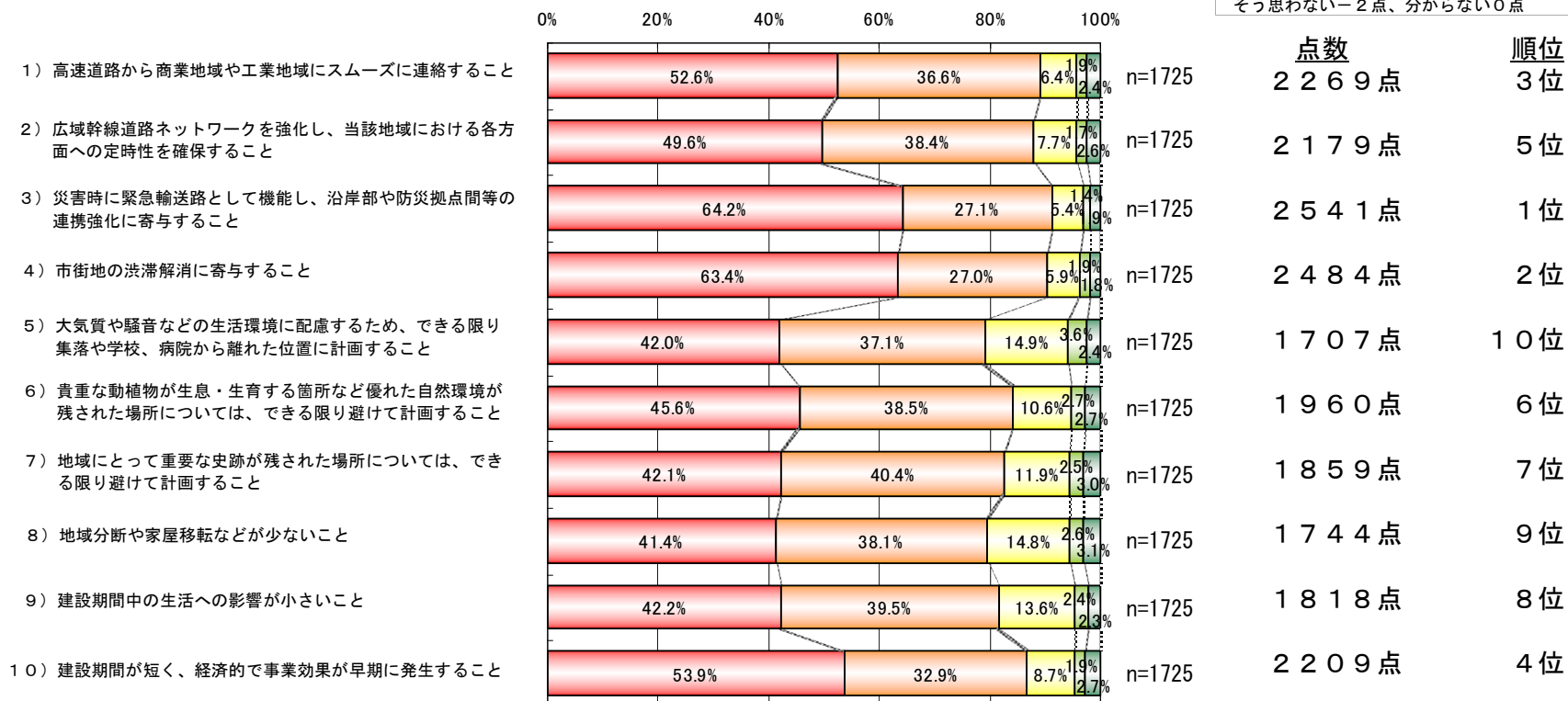
○問4-1 それぞれの項目ごとに、あなたの考えに近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

○配慮すべき事項については、3)災害時に緊急輸送路として機能し、沿岸部や防災拠点間等の連携強化に寄与すること、2)市街地の渋滞解消に寄与すること、1)高速道路から商業地域や工業地域にスムーズに連絡することなど、道路の機能性に対する配慮を求める意見が多い。また、10)建設期間が短く、経済的で事業効果が早期に発生することについての意見も多くなっている。

□ そう思う □ ややそう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない □ わからない

### 重要度が高いもの上位から点数付け

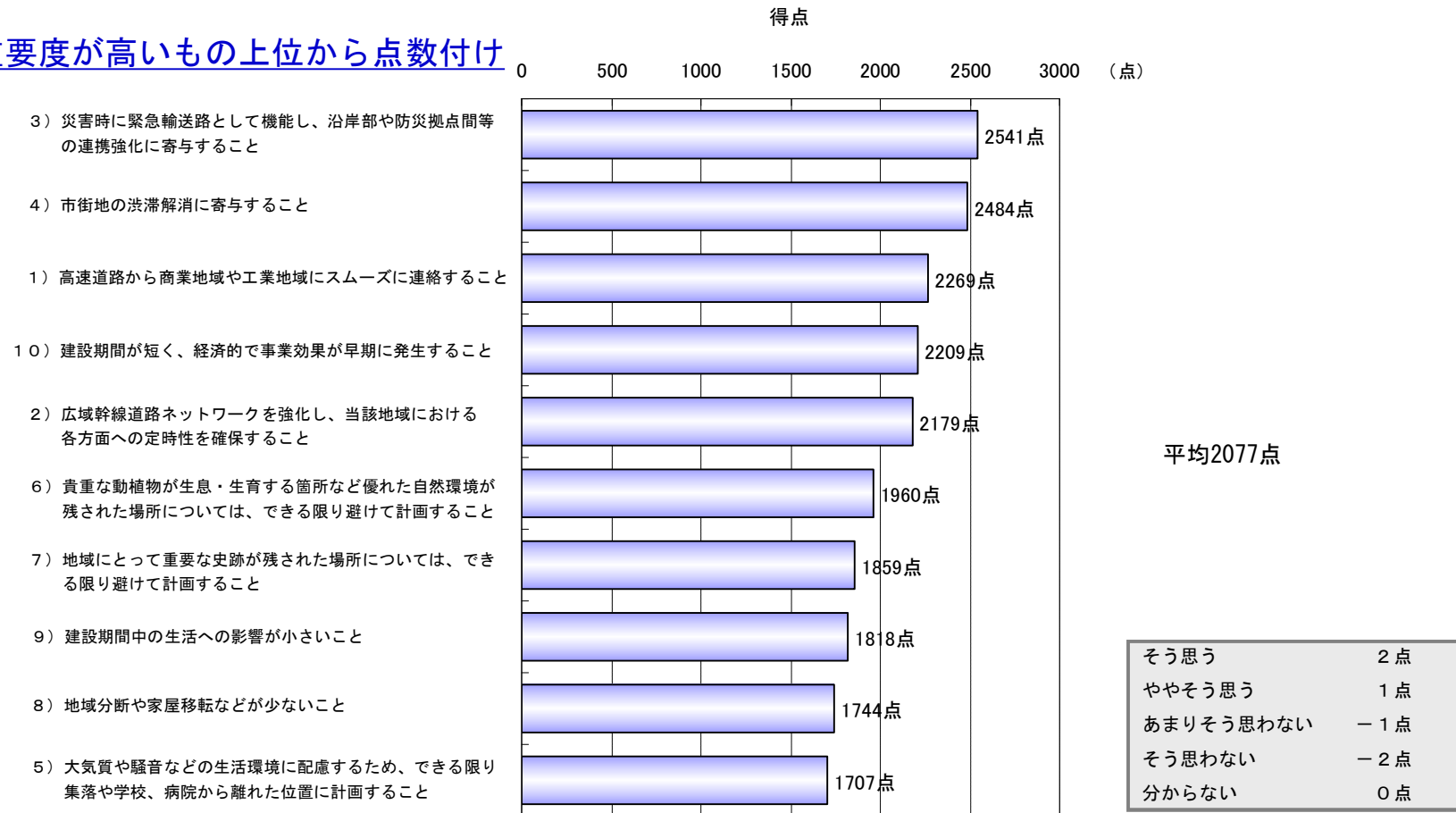
そう思う2点、ややそう思う1点、あまりそう思わない-1点、そう思わない-2点、分からない0点



# 1-2 県民等の意見 -第2回アンケート調査結果-

(参考)

## 重要度が高いもの上位から点数付け



# 1-2 県民等の意見 - 第2回アンケート調査結果 -

○問4-2 問4-1の各項目に該当する、具体的な名称をお書きください（例：環境の保全の見地から〇〇を保全してほしいなど）。また、上記項目以外に配慮すべき事項があればご自由にお書きください。

分類	配慮事項に関するその他自由意見
産業に関すること	高速道路から商業地域や工業地域にスムーズに連絡してほしい・工業(自動車工場等)を支える道路として重要・中心市街地へのアクセスをよくしてほしい・人の活動を支える道路となることが重要
広域ネットワークに関すること	・北勢圏域の広域幹線道路ネットワークの強化をはかり、各方面への定時性を確保してほしい・産業発展の見地から大阪、名古屋との連絡を強化してほしい・東名阪自動車道-新名神高速道路-北勢・中勢バイパスとの連携強化を・東名阪自動車道の渋滞がひどいので、新名神高速道路を早期完成を望む・23号の高速化を想定して、23号と直結することを望む・周辺道路の充実を望む(北勢・中勢バイパスの早期完成 等)
防災に関すること	・災害時の緊急輸送路としても期待できる広域幹線道路ネットワークの強化は必要・災害時の緊急輸送路としてできる限り海岸付近まで延長されることが望ましい・災害時に市街地と同じように山村・漁村部にもすばやく援助が行き届くように・道路自体が崩れないかが心配・高架式よりも、1本足のものをなくしたり、土盛りの方が安全
市街地の渋滞解消に関すること	・市街地の渋滞解消を図って欲しい(中央道路、ベルシティ付近、国道23号 等)・渋滞を解消のため国道1号線の幅をもっと確保してほしい・市街地の渋滞の解消に繋がるような幹線道路と生活道路とのネットワークづくり・渋滞解消のための東西軸よりも先に南北軸である北勢バイパス、中勢バイパスを早期に全通すべき
大気質や生活環境に関すること	・騒音・排気ガス対策を行ってほしい。・生活環境に配慮してほしい。・大気汚染や騒音は最大限、防止措置を講じてほしい。・郊外の住宅団地にも考慮してほしい。
貴重種などの動植物に関すること	・金生水の貴重な水生植物への影響は100%ないよう願います。・自然環境は残して欲しい。人間のエゴでの道路づくりはやめてほしい。・開発する上で動植物をきちんと守って欲しいです。・希少な植物群を破壊しないようにして欲しい。・自然環境の保全は欠かせない。・環境の保全の見地から金生水沼沢植物群落を保全してほしい。・鈴鹿川の環境保全を協力していただけたらと思います。(いろんな生き物が生息していますので) ・川の周辺は狐や蜚の生息(確認済)、藤袴やナデシコ等の自生(未確認)があるらしいので、調査をおこない、生態への影響を可能な限り最小限に留めて欲しい。・動植物への影響をなるべく少なくして欲しい。・環境面で山中に住む動物達への影響を今以上に考える必要がある。・自然を保全しながらの道路整備を実現してほしい。
重要な史跡に関すること	・能褒野台地の田園風景と史跡・日本武尊神話の地、能褒野地区は、現況以上に大切に扱ってほしい。・能褒野神社は残してほしい。・重要な史跡の範囲として、国府地区が大きく示されているが、広瀬地区(伊勢国府跡付近)の方が存在することが周知の史跡である。現在の史跡指定範囲のみならず、将来的な指定候補地・景観の保全を蔑ろにするべきではない。・伊勢国司跡などの史跡の保護に万全を期するとともに、予定されるルート上の史跡調査を詳細に行ってほしい。・神戸城跡は残してください。・重要な史跡を守って欲しい。・重要な史跡は大事なものであるから避けてほしい。・貴重な史跡は残してほしい。
建設期間中の生活環境に関すること	・工事中の近隣住民への影響をできるだけ少なくしてほしい・工事期間中も含め、児童・生徒に危険が及ばない計画にしてほしい・建設中周辺の道路の渋滞を極力起こさないようにしてほしい・年末短期集中の工事にしないほしい
建設期間や事業性に関すること	・早期に完成させてほしい・早急に着手してほしい・建設期間の短縮が必要・費用の削減(安価で経済的な建設)が必要・建設期間が短く、低コストなルートを選定してほしい・後々の維持管理費(更新も含め)も考慮すべき・投資採算性を正確に算出し必要性を判断してほしい
その他	・集落へのアクセスの確保を望む・市街地通過ルートを望む・市街地北部ルートを望む・案①、②ではないルートを望む(南部地区につながるルート、商工を分離するルート)・鉄道の駅へのアクセスも重要(リニア新線駅を考慮に)・活断層を避けたルートに・周辺住民の安全を確保すること・道の駅などの便益施設を設け、地域振興に資することが大事・高架化、立体交差化を進めてほしい・公益性を地域住民に十分に説明し、建設における理解、協力を促す・工事を着手したら、途中で頓挫させないようにしてほしい・道路ありきではなく、新しい交通を考えたいほうがいい・森林伐採は避けて欲しいです・今あるものを利用して、自然は残して欲しい。・子供たちが楽しみ学べる自然環境を残して欲しいです。・茶畑の保全・道路周辺の景観や(人だけでなく動物を含めた)交通安全への注力してほしい

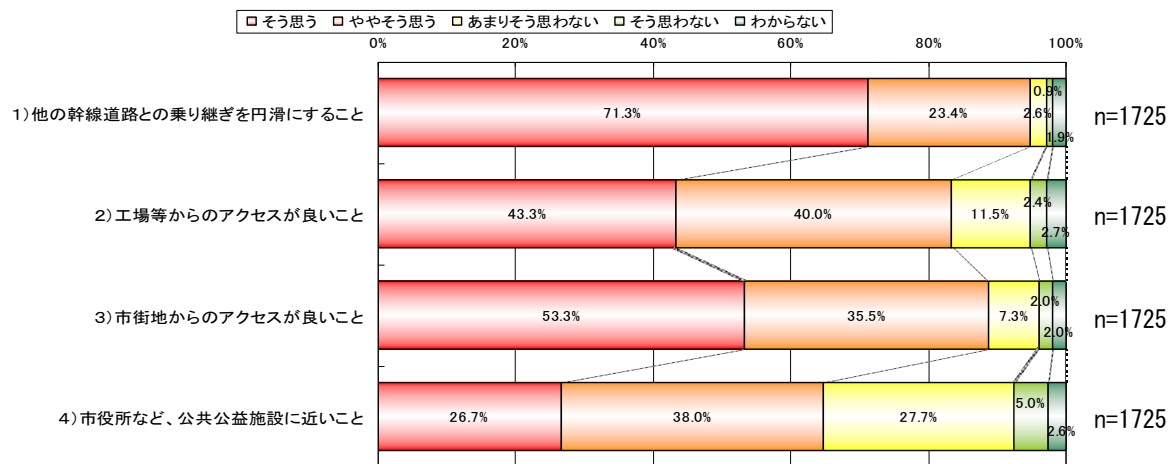
# 1-2 県民等の意見 -第2回アンケート調査結果-

## 【インターチェンジの位置について】

問5 課題の解決や政策目標の達成には、自動車専用道路等での整備が必要と考えています。また、亀山ジャンクションから北・中勢バイパスに接続し、将来的には国道23号に接続することを考えています。それらの間で交差する道路にインターチェンジを設置する必要がありますが、設置の際、配慮する項目を下記のとおり4項目抽出しました。これらについて、配慮すべきだと思いますか？

○問5-1 それぞれの項目ごとに、あなたの考えに近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

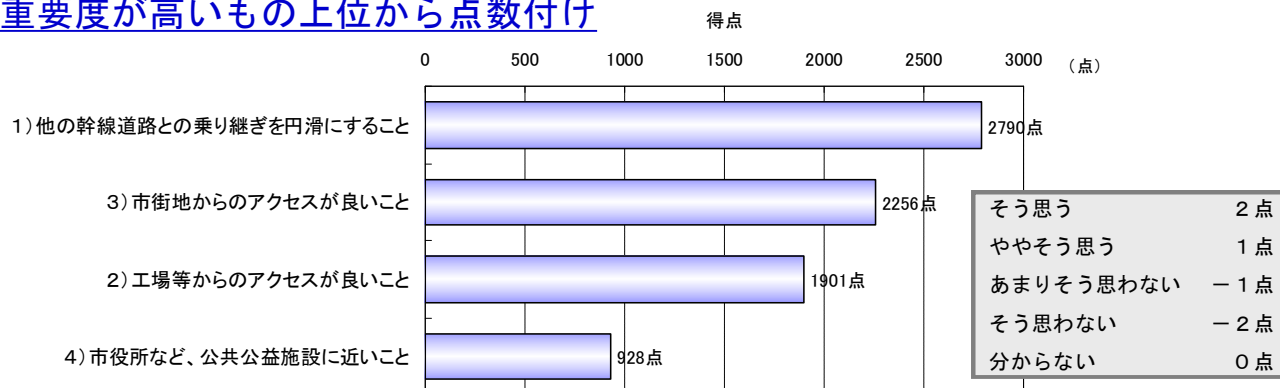
○インターチェンジの位置に向けて配慮すべき事項としては、1)他の幹線道路との乗り継ぎを円滑にすること、3)市街地からへのアクセスが良いことを重視する意見が多くなっている。



### 自由記述 (意見抜粋)

- 鈴鹿サーキットから高速インターへのアクセスが楽になればいい
- 接続・合流点で、渋滞するケースが多いので、特に留意して欲しい
- ホンダから高速道路へスムーズに輸送できるようすべき
- 大型トラックのアクセスは市街地から少し離れて専用の道路があれば良い
- 将来は国道23号とつなげればよい
- 別途工場誘致計画などあれば、近くにインターチェンジを計画して契約のメリットの一つとする
- 病院から遠いと救急の場合非常に不便
- ジャンクション、インターチェンジの目印をわかりやすく設定してほしい

### 重要度が高いもの上位から点数付け



## 1-3 県民等の意見 -第2回ヒアリング調査結果-

調査方法：ヒアリング調査票を郵送にて送付

調査団体：中部広域観光推進協会、中部経済連合会、自動車会議所、全農、鈴鹿市消防本部

調査期間：平成26年1月27日～平成26年1月31日



# 1-3 県民等の意見 - 第2回ヒアリング調査結果 -

## ○ヒアリング調査票

### 1 鈴鹿亀山道路整備にあたって配慮すべき事項

ルート帯の案をご覧いただいた上で、鈴鹿亀山道路の整備を検討するにあたって、配慮しないといけない事項についてお聞かせください。

・配慮する内容：以下のアンケートでの項目（視点）を参考にできるだけ具体的（場所や名称など）に、配慮する事項をご記入ください

・優先度：上記の項目について、重要な順に番号をつけてください（①から数字で）

配慮する事項	優先度
例) 市街地の渋滞解消につながるように、鈴鹿亀山道路以外の〇号線の整備充実、鈴鹿亀山道路との連携を図る必要がある	2
例) とにかく早期に効果を発現するために、市街地の支障物件が少ない、費用の安いルートにするべき	1
例) 〇〇に生息する〇〇は重要な貴重種であり、影響のないルートにする必要がある	3

#### 参考) WEB でのアンケートでお聞きしている配慮事項の項目（視点）

- 1) 高速道路から商業地域や工業地域にスムーズに連絡すること
- 2) 広域幹線道路ネットワークを強化し、当該地域における各方面への定時性を確保すること
- 3) 災害時に緊急輸送路として機能し、沿岸部や防災拠点間等の連携強化に寄与すること
- 4) 市街地の渋滞解消に寄与すること
- 5) 大気質や騒音などの生活環境に配慮するため、できる限り集落や学校、病院から離れた位置に計画すること
- 6) 貴重な動植物が生息・生育する箇所など優れた自然環境が残された場所については、できる限り避けて計画すること
- 7) 地域にとって重要な史跡が残された場所については、できる限り避けて計画すること
- 8) 地域分断や家屋移転などが少ないこと
- 9) 建設期間中の生活への影響が小さいこと
- 10) 建設期間が短く、経済的で事業効果が早期に発生すること

### 2 鈴鹿亀山道路の整備で期待される効果

ルート帯案をご覧いただいた上で、鈴鹿亀山道路を活かして、貴殿で想定される効果について、具体的にご記入ください。

### 3 自由意見

鈴鹿亀山道路整備の検討にあたってのご意見・ご要望（是非言っておきたいこと、不安・懸念すること）などがございましたら自由にご記入ください



## 1-3 県民等の意見 - 第2回ヒアリング調査結果 -

分類	主なご意見
検討にあたって配慮すべき事項 (最も重要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路から災害時における緊急輸送道の複数確保が必要。</li> <li>・北勢バイパスおよび23号へのアクセスがスムーズに行なえるよう市街地を避けた信号機の少ない道路にしていきたい。</li> </ul>
検討にあたって配慮すべき事項 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中、建設期間が短く、早期に建設するルートにすべき。</li> <li>・市街地の渋滞解消を図る為にも、鈴鹿亀山道路へ連絡する既存道路の整備充実が必要。</li> <li>・運送会社にとっては北勢バイパスの整備内容次第。信号機の少ない道路であれば利用率は増える。新名神高速を利用する一般車両にはとても便利。</li> </ul>
期待される効果 (物流)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送効率：北・中勢バイパスと鈴鹿亀山道路の整備により、国道23号の慢性的な渋滞の緩和が見込まれるのではないかと。</li> <li>・売上(取引)の増加の視点：インフラの整備により企業立地(工場)の選択の可能性も見込まれ、三重県内の運送会社の輸送売り上げにもつながるのではないかと。</li> <li>・雇用の増大の視点：工場立地による雇用の増大も見込まれる。</li> </ul>
期待される効果 (消防)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ巨大地震の発生により、津波等で甚大な被害が予想され、三重県は国道23号は沿岸部を通ることから、他府県からの消防警察・自衛隊並びに緊急支援物資等の到着が遅れ、更には企業の製造部品の調達が遅れ製品出荷の激減も予想されるが、本道路の整備により複数のルートが確保されることで、人命・復旧・復興に大きな役割が果たせると考える。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北勢地区・特に桑名～四日市の23号は慢性的な渋滞により、輸送効率があまりよくない。平行する1号はトラック輸送にはあまり適しておらず(単線・信号機が多い)、北勢バイパスの整備は23号の渋滞緩和につながるのではないかと。インフラの整備により、企業立地を検討する企業も出てくるのではないかと。</li> </ul>

# 1-4 県民等の意見 - 第2回100人協議会結果 -

## 開催概要

会場	場所	開催日時	参加者数
鈴鹿会場	鈴鹿市役所12階大会議室	平成26年2月5日(水) 18:00～20:30	47名
亀山会場	亀山市役所3階大会議室	平成26年2月7日(金) 18:00～20:30	50名
津会場	三重県吉田山会館第206会議室	平成26年2月9日(日) 15:00～17:30	9名
合計			106名

## 討議テーマ

- ①複数の案（県は市街地北部ルート帯を有力と考えていること）に対する意見・課題の共有
- ②鈴鹿亀山道路ができた場合の夢・提案（鈴鹿亀山道路ができれば私はこんなことをやってみたい）



# 1-4 県民等の意見 - 第2回100人協議会結果 -

## テーブル討議の主な意見

○評価項目としては、防災、産業支援、沿道環境等に加え、実現性・事業性に関する意見が多い  
 ○ルート帯については、北部ルート帯が有力であるものの、より効果を広げるために周辺道路との連携を望む意見が多い

市街地北部ルート帯	市街地通過ルート帯	両ルート帯に関すること	その他のルートについて
<p>【総論】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このルートで早期実現</li> <li>・北部ルートに賛成</li> </ul> <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に有利</li> </ul> <p>【産業支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済効果がある</li> <li>・時短が重要</li> <li>・沿道利用が促進される</li> <li>・将来発展の可能性がある</li> </ul> <p>【沿道環境等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音が少ない</li> <li>・民家が少なくてベター</li> <li>・交通渋滞の緩和に期待</li> <li>・市街化を誘発する可能性</li> </ul> <p>【実現性・事業性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実現性がある</li> <li>・建設期間が短い</li> <li>・工事期間が早い</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道23号線までつなぐ</li> <li>・新たな渋滞対策が必要</li> <li>・自然環境、景観を損なわないように</li> <li>・側道や歩道の整備をしてほしい</li> <li>・ICは4箇所整備</li> <li>・国道306号からの直接乗り入れ</li> <li>・市街地へのアクセス道路が必要</li> <li>・堤防沿いにつくれば堤防補強になる</li> </ul>	<p>【産業支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の集積には必要</li> </ul> <p>【沿道環境等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物に行くのに便利・市街地の渋滞解消に寄与大</li> <li>・白子、旭ヶ丘の人口が多いため利用効果が高い</li> </ul> <p>【沿道環境等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞解消は無理</li> <li>・現在の中央道も危険</li> <li>・市街地が分断される</li> </ul> <p>【実現性・事業性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コストがかかる</li> <li>・工事困難</li> <li>・用地取得に時間がかかる</li> <li>・工事が大変、時間がかかる</li> <li>・ルート内のコース次第で金額が安くなるのでは</li> <li>・市街地をつなぐインターの設置を望む</li> </ul>	<p>【総論】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平田～神戸～白子を結ぶ環状道路が必要(3つの拠点と新名神を結ぶ道路)</li> <li>・亀山JCTと直接つなぎ、インターを適切な位置に</li> </ul> <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災のための道路が必要</li> <li>・防災面で海側まで延長</li> </ul> <p>【産業支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物流の短縮</li> </ul> <p>【沿道環境等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使いやすい生活道路に</li> </ul> <p>【周辺道路との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の道路のアクセス整備を</li> <li>・国道306号に接続し、周辺道路整備も必要</li> <li>・国道306号の4車線化、インターアクセス道路の整備</li> <li>・リニア新幹線(駅)とのアクセス</li> <li>・亀山JCTから国道1号まで工事を先行すべき</li> </ul> <p>【実現性・事業性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期完成とコストから選定</li> <li>・早くするためにも用地買収が早くできるルートを</li> <li>・整備は西側から</li> </ul> <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的な価値のあるものは保存してほしい(能褒野遺跡など)</li> <li>・住宅地を避けて騒音や大気汚染対策を</li> <li>・景観を守りつつ、文化財を見に行けるような道路への接続を考えてほしい</li> </ul>	<p>【産業支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地区の経済の活性化</li> <li>・企業誘致に有利、新産業をねらうなら南ルート</li> <li>・観光、産業面から効果がある</li> </ul> <p>【周辺道路との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス道路が少なくてすむ</li> <li>・高速道路に遠い</li> <li>・国道306号からの直接乗り入れ</li> <li>・国道23号、北勢バイパスを使えば便利</li> </ul>

## 1-4 県民等の意見-第2回100人協議会結果-

### 鈴鹿亀山道路ができた場合の夢・提案（抜粋）

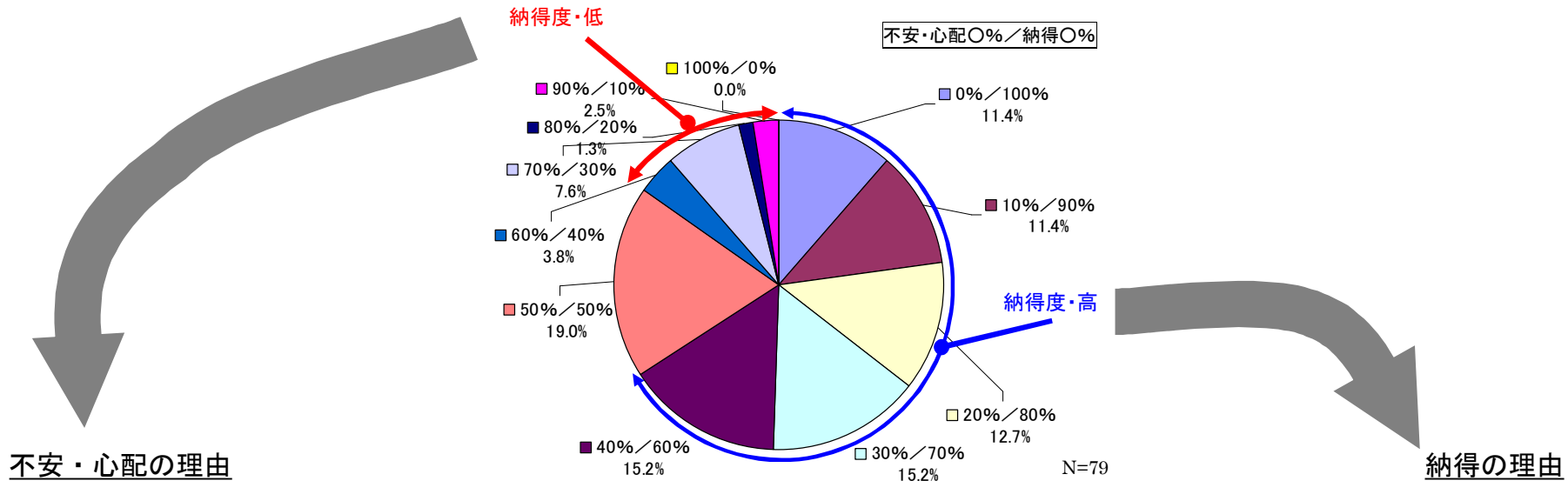
- ネーミングを市民につのり、誇れる(全国、世界)道路に！！
- 鈴鹿道路に入ったとたんにチェッカーマークなどで市をアピール。名物道路に。
- 鈴鹿市民の道。サミットが開催され子どもや高齢者の夢が語られ充実した市に将来が推進されるといい。
- 名古屋、大阪の中間で、ちょっと(1時間程度)で行ける(集まれる)街づくり。
- 鈴鹿道路の開通式にはF1カーでパレードを！
- 京都の料理店と契約して、白子漁港の新鮮な魚を毎日届けることができたらいいなあ(あなご街道とか)
- 白子からセントレアへの船便⇒海底トンネルへ接続！！
- ヘリポートをつくり、災害時や交通事故などで病人などを運ぶ道路にして欲しい。
- 年に1回は鈴鹿亀山マラソンを全国的に有名になる様な計画をするべき。
- 夜に通るとLEDライトできれいな道路に(観光ルートスポット)。
- ランドマークとなる夢の道路！！
- 高架道路の下を有効利用。スポーツ施設を作る(ゲートボール場、テニスコート等)。
- “環境美人な道路+一年中緑と花で美しい環境を作り、走るのも楽しい道路を。県外からも見学に来てもらえるくらい楽しい道路を目指してほしい。
- 北部ルートの道路は開通したら、中央道路を止め「23号から庄野橋」まで祭りをおこないたい。
- AKBグループの路上ライブ！フリーマーケット。
- 新しい道ができれば150kmで走ってみたい。
- 県外から来た友人達に「鈴鹿の道は便利だね」と言われたい。
- 電気自動車で、新名神を通り、滋賀県の方の美術館や博物館、資料館などを巡りたい。



# 1-4 県民等の意見 - 第2回100人協議会結果 -

## ふりかえりシート of 意見

Q: 鈴鹿亀山道路の検討を進めることについてあなたの納得度を教えてください。



### 不安・心配の理由

- 【実現性】
  - 完成時期が遅れないか(生きている間に完成できるか)
  - 予算は確保できるのか、実現できるのか
- 【地域活性化】
  - 地域の活性化、産業の発展につながるのか
  - 南ルートがないと新産業の育成につながらないのではないか
- 【環境等】
  - 地元の環境への配慮
  - 自然環境や景観への影響
  - 新たな渋滞が発生しないか
  - 地域の分断が心配
- 【その他】
  - 周辺道路との連絡ができるか
- 【市民意見等】
  - 出した意見がどれだけ取り上げられるか
  - この協議会の今後の動向は？ 等

### 納得の理由

- 【全般】
  - 整備に対して賛成
  - 機は熟した
  - 生活・防災・産業の面でとても大切な道
- 【地域活性化・産業】
  - 物流産業の発展に期待
  - 地域の活性化につながる
- 【防災】
  - 亀山JCTと鈴鹿の沿岸部をつなぐことで、利便性・防災の部分で期待できる
- 【環境等】
  - 渋滞解消に期待(物流・観光等)
- 【その他】
  - 実現性を感じることができた
- 【市民意見等】
  - 県の考え方がわかった
  - いろいろな意見をくみあげてもらえそう
  - 市民の意見をとりえて進めていこうとする姿勢が理解できた 等

# 1-5 県民等の意見 -第2回意見聴取のまとめ-

## ルート帯検討に当たっての県民等の意見

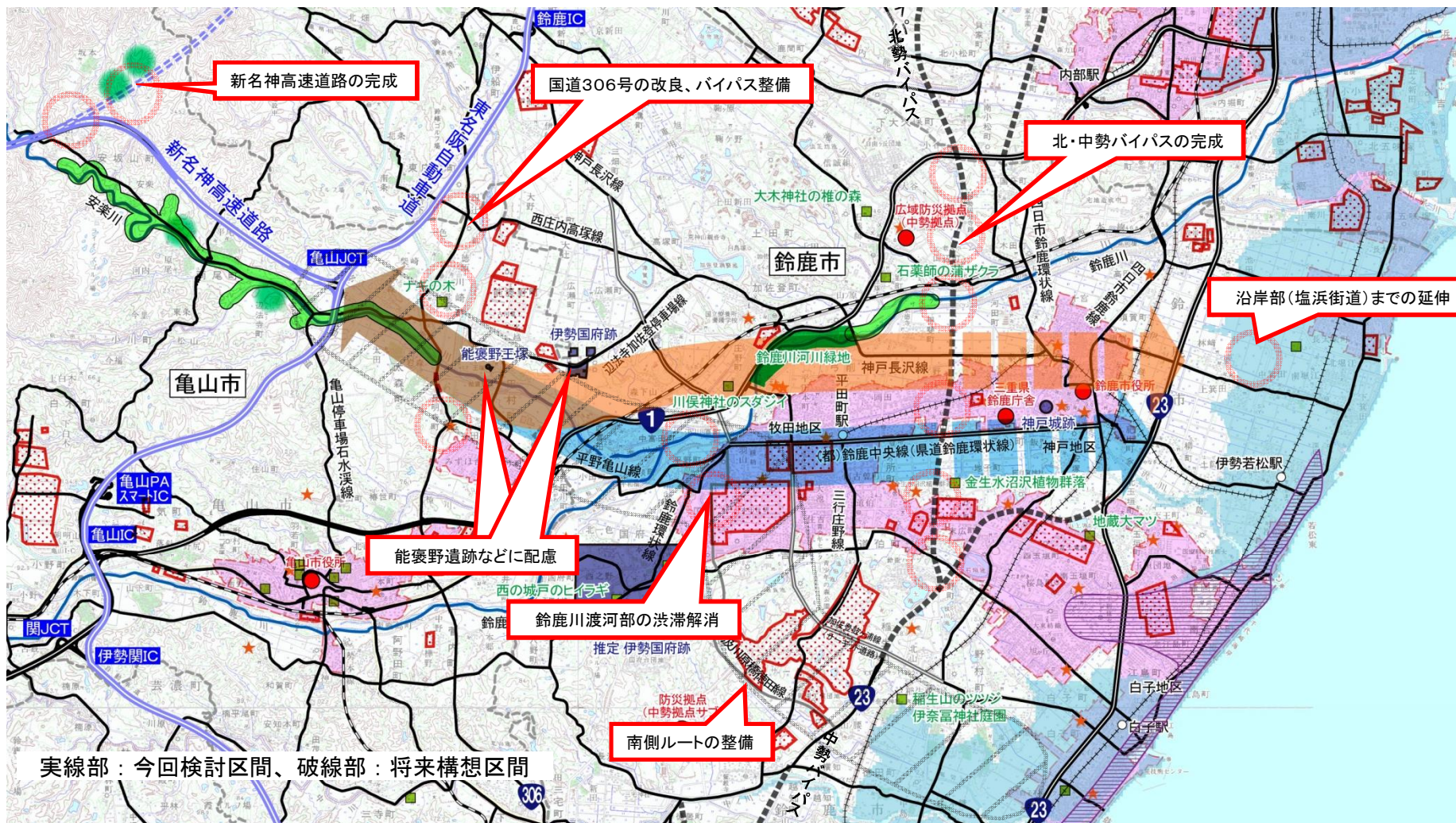
分類	具体的意見
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高速道路から商業地域や工業地域にスムーズに連絡すること&lt;アンケート:3位&gt;</li> <li>○市街地の渋滞解消を図る為にも、鈴鹿亀山道路へ連絡する既存道路の整備充実が必要。&lt;ヒアリング&gt;</li> <li>○北勢バイパス、国道23号へのアクセスがスムーズに行える市街地を避けた信号機の少ない道路に。&lt;ヒアリング&gt;</li> </ul>
広域ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広域幹線道路ネットワークを強化し、当該地域における各方面への定時性を確保すること&lt;アンケート5位&gt;</li> <li>○東名阪自動車道の渋滞がひどいので、新名神高速道路の早期完成を望む&lt;アンケート&gt;</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時に緊急輸送路として機能し、沿岸部や防災拠点間等の連携強化に寄与すること&lt;アンケート:1位&gt;</li> <li>○国道23号まであるいは塩浜街道(沿岸部)までつなぐべき。&lt;100人協&gt;</li> <li>○高速道路から災害時における緊急輸送道の複数確保が必要。&lt;ヒアリング&gt;</li> </ul>
周辺交通・生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市街地の渋滞解消に寄与すること&lt;アンケート:2位&gt;</li> <li>○住環境への配慮(工事中、工事後)&lt;アンケート&gt;</li> </ul>
工事期間中の交通への影響、建設期間、事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建設期間が短く、経済的で事業効果が早期に発生すること&lt;アンケート4位&gt;</li> <li>○南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中、建設期間が短く、早期に建設するルートにすべき。&lt;ヒアリング&gt;</li> <li>○建設期間が短い、工事期間が早い、実現性の高い案を望む&lt;100人協共通意見、ヒアリング&gt;</li> <li>○完成時期が遅れないか(生きている間に完成できるか)、実現できるのかが不安&lt;100人協&gt;</li> </ul>
自然環境・史跡等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貴重な自然環境・史跡の保全(金生水沼沢植物群落、能褒野地区等)&lt;アンケート、100人協&gt;</li> </ul>
その他配慮・留意する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国道306号やリニア新幹線駅との接続の強化&lt;100人協&gt;</li> <li>○鈴鹿市白子地区等への南側ルートの整備&lt;100人協&gt;</li> <li>○運送会社にとっては北勢バイパスの整備内容次第&lt;ヒアリング&gt;</li> <li>○ICの位置は、「他の幹線道路との乗り継ぎを円滑にすること」、「市街地からへのアクセスが良いこと」等を重視&lt;アンケート&gt;</li> </ul>



# 1-5 県民等の意見 -第2回意見聴取のまとめ-

地域のより細かなニーズを把握し、住民・関係者等の理解を得た、より良い計画の実現を目指す

- ・ ・ ・ 地域の道路としての取り組み

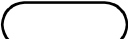


## **2. 第3回有識者委員会の審議内容**



## 2 第3回有識者委員会の審議内容

### 計画検討手順とSTEPの解説

凡例  有識者委員会

#### 計画検討手順

#### STEPの解説

#### STEP1

有識者委員会  
(第1回)  
H25. 7. 26

計画検討の発議  
手順の明確化

意見聴取①

#### STEP2

有識者委員会  
(第2回)  
H25. 12. 16

- ①課題の共有と道路整備の必要性の確認
- ②複数案の設定と評価項目の設定

意見聴取②

今回審議対象

#### STEP3

有識者委員会  
(第3回)  
H26. 3. 10

複数案の比較評価

#### STEP4

概略計画案の選定  
対応方針案の策定

- ・ 計画策定者は、構想段階の計画検討を開始する際に、上位計画等で検討された基本方針や現状の課題に基づき、当該事業の目的、検討の進め方、スケジュール等の計画検討に必要な事項を明確にし、計画検討に着手することを公表
- ・ 広域な計画等に示された地域が目指す将来像を踏まえ、解決が必要とされる現在あるいは将来の課題について、できる限り早い段階で住民・関係者等と共有し、課題解決を当該道路計画の目標として設定
- ・ 目標の達成が効率的かつ効果的に見込まれること及び道路整備以外の方策のみによっては達成できないことを確認することにより、道路計画の必要性を確認
- ・ 目標に照らして、現実的で合理的な複数案を設定
- ・ 目標の達成度や影響の観点から、複数案の比較評価で用いる評価項目を設定

- ・ コミュニケーションプロセスや技術・専門的検討を踏まえ、評価項目ごとの評価結果に基づいて、複数案の優位性を評価

- ・ 最も優位な概略計画案の選定

数多くの比較案が設定され、全ての案を同時に詳細に検証することは非効率となることから、効率性に配慮した手順となるよう工夫し、幾つかの区間に分割する、多段階の比較評価を実施

## STEP2



## 意見聴取

対応できる意見

例)

- ・主要地点間の所要時間の短縮
- ・災害時にも機能する道路の確保
- ・産業・観光を大切に
- ・〇〇等の自然環境に配慮

⋮

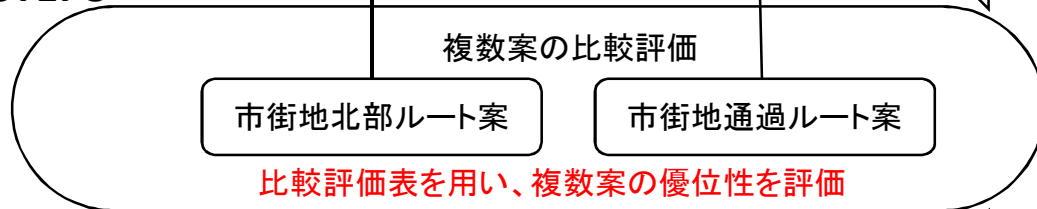
優位と評価された概略計画案を実施するにあたっての配慮・留意する事項の確認

例)

- ・〇〇までの延伸
- ・渋滞対策(整備効果の発現しない箇所)
- ・〇〇ルート of 整備

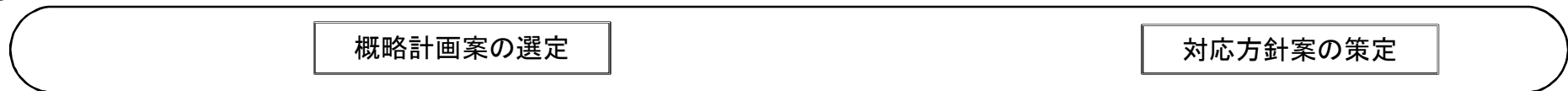
⋮

## STEP3



環境影響評価法に基づく  
手続き(配慮書)

## STEP4



三重県知事による概略計画の決定

都市計画手続きへ